



志をもって 未来を切り拓け

自学
温言温動

2年生が「がん教育」 を行いました

10月29日(水)に岐阜市民病院の副院長である篠田 邦大先生(小児科部長、小児がん専門)を講師としてお招きして、2年生を対象にがん教育「がんを学ぼう。あなたと大切な人の命のために」の講演を行いました。

講話の最初の自己紹介では、中学3年生のときにサッカーチームに所属し、地区大会で優勝したときの写真を見せていただきました。なんと梅林中の卒業生であり、とても親しみを感じることができました。大変気さくで、ユーモアのある人柄である篠田先生は、「これから話をするけれど、私がボケたら、笑ってうけてほしい。もし、スルーされると、心が折れて話せなくなってしまうから」と話すと、大きな笑いが起こりました。

講話の中では、2人に1人はがんになってしまいほどの病気であることや、がんは体中のどこにでもでき、まれに心臓にもできることを教えていただきました。また、人間の細胞は自分で修復して元気な細胞になることができますが、修復しても治らないと悪い細胞=がんになることなど、がんができる仕組みや、がんにならないために生活習慣を見直すことの大切さを教えていただきました。笑いをまじえながら、楽しく講話を聞くことができました。



講演後の生徒に「がんについて、今のイメージはどのようなものですか?」とアンケートをした回答の一部を紹介します。

- ・がんは早期発見早期治療で治せるものや進行を遅くすることができる。
- ・多くの人ががんになる可能性があるが、早めに見つけることができれば治せる確率が上がる病気。
- ・治らないと思っていたけど早期治療で90%以上も治るなどとき、治るんだと思った。
- ・怖くてなりたくないものだけど、がん検診などをを行い、早期発見をすれば治ることが多いと知って少し安心できた。
- ・誰でもなりえることだけど予防・治療することができ、みんなで支え合うことが大事。
- ・がんは誰でもなる可能性がある身近な病気で、防ぐための努力が必要だと思いました。
- ・怖いけど、生活習慣の改善やがん検診などをすることで防ぐことができるもの。今までより、個人的に怖くはなくなったり。しかしそれは上記のことをやった場合なので、親や祖父母にもこのことを伝えて怖さを減らしていきたい。
- ・最初から突然なる物じゃなくてその異物(細胞)がじょじょに増えていくってなるものだと気づいた。それに早期発見で治る確率が90%など様々な知識を知れた。

いじめを見逃さない日の取組 (10月)を行いました

10月16日(木)の後期始業式の後に引き続き、「いじめを見逃さない日」の取組として、いじめ対策監の松野先生が次のような話をされました。

4月からの半年間を振り返ったときに気になることがあったので、後期の生活ではそのことを十分に意識して生活してほしいと思い、改めて話をします。

それは、「人の嫌がることを言ってしまう」「からかってしまう」などの場面が見られたことです。ほんの軽い気持ちで言ったことでも、相手の心には長く残るということです。

言葉や気持ちちは目には見えないですが、人の

心を動かす大きな力をもっています。だからこそ、「この一言で相手はどう感じるかな」と立ち止まって考えることが大切です。

もう一つ皆さんに伝えたいのは、「自分を大切にする」ことを忘れないでほしいということです。うまくいかないことがあっても、「自分なんて…」と思わないでください。できていること、頑張っていることは必ずあります。

そして、学校は安心できる居場所であってほしいということです。そのためにできることは、一人一人が「誰かにとっての安心」になることです。優しい声かけ、笑顔のあいさつ、ちょっとした助け合い、そんな小さな一つ一つのことが、学校の空気を温かくしていくものだと思っています。後期は、今まで以上に「相手を思いやる自分」「自分を認める自分」を意識してみてください。周りも自分も大切にできるようになることで、学級や学校はもっとよくなっていくはずです。小さな思いやりが、周りの空気を変えていきます。後期の自分が前期の自分を超えるように頑張っていきましょう。

最後にもう一つだけ、押さえたいことがあります。「いじめられている人が変わるべき」とか「いじめられない努力をする」これらは、9/16のいじめを見逃さない日のグループ討議で出てきた意見の一部です。これは間違ったとらえ方であり、正すべき内容です。変わるべき、努力をするのは、いじめを受ける人ではなく、いじめをする人、そしてそれを容認してしまう傍観者であることを皆さんにしっかりと伝えたいと思います。

この話から1か月が過ぎようとしていますが、もう一度松野先生の話であったように「相手を思いやる自分」「自分を認める自分」ができているでしょうか?また、「いじめについての認識」を正しくとらえ直すことができているでしょうか?もう一度自分自身を見つめ直す機会にしてほしいと思います。



新しく購入したウレタンマットを使って跳び箱の授業を行いました

3年生の体育の授業では、新しく購入したウレタンマットを使って、跳び箱の授業を行っています。課題別に使用する跳び箱を設置して、自分の課題に合わせて跳び箱を選び、台上前転や頭はね跳びの練習を繰り返していました。練習の仕方も工夫されていて、教科担任の伊藤先生や同じ課題の仲間の補助で行ったり、タブレットで撮影をしてもらい、自分の演技を再生して確認したりするなどしていました。また、ウレタンマットを使ったことで、安全で安心して跳び箱の練習ができるようになりました。

すばらしいと感じたのは、自分一人で取り組むのではなく、仲間とともに支え合いながら活動ができていたことです。これまでの学習班の学び合いが、体育の授業にも生かされていました。



【12月のおもな予定】

- 1日 (月) ひびきあいの日
- 2日 (火) ~8日 (月) 3年進路懇談
- 10日 (水) さわやかAB
ふれあい教育展参観
- 18日 (木) 2年救命講習
- 27日 (土) ~1月6日 (火) 冬期休業日